

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(5/12)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
みえライフイノベーション総合特区 (三重県)	正	B 4.2	B 4.3 進捗度 ・医療・福祉現場ニーズの収集件数 146% ・医薬品・医療機器生産金額 ①医薬品 90% ②医療機器 106% ・研究開発支援拠点プラットフォームの活用機関数 ①県内 195% ②県外 217% 等	C 3.2 財政支援等 ・みえライフイノベーションヘルスケア産業創出ネットワーク形成事業 等 地域独自の取組 ・医療・福祉機器等研究開発補助金 8件 ・マイレージ制度(企業立地促進補助制度)の創設 等	+0.40	<p>・全体として事業の方向性、進捗状況は良好である。特に、プラットフォームの形成(※1)や民間主体への波及が見られる点、地域独自の支援策(※2)により実効性のある成果を上げている点は評価できる。</p> <p>・施設整備などに重点が置かれており、「医療、健康、福祉分野の研究活動をコーディネート」することによりどのような産業を育成しようとするのか、また、患者等の医療情報を統合した医療情報データベース(※3)を整備した後、どのように活用するのかについて、さらに明確にする必要がある。</p> <p>※1: 医療情報データベースを核に研究開発コーディネート機能等を備えた「みえライフイノベーション推進センター(MieLIPセントラル)」及び地域の特性を活かして産業創出を支援する6つの「地域拠点(MieLIP地域拠点)」から構成される。</p> <p>※2: 医療・福祉機器等研究開発補助、企業立地促進補助、研究開発施設等立地促進補助等による支援が行われている。</p> <p>※3: 治験情報、診療情報、画像情報、人間ドック・特定健診等に係るデータを統合したデータベース。これにより、市町や医療機関と連携して医薬品や医療機器等の研究開発を行うとしている。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。 *2)「IIIについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。